年間授業計画

高等学校 令和6年度（１年次用） 教科　　美術　　科目 素描 （映像）

教　科： 美術　　科　目： 素描 （映像）　　単位数： 2 単位

対象年次組：第 1 年次 1 組～ 2 組

教科担当者：　　（１組：　）　　（2組：　）

使用教科書：（　　）

教科　美術　　の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】美術に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めるとともに，独創的・創造的に表すことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】美術に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ，創造的な思考力，判断力，表現力等を育成する。

【学びに向かう力、人間性等】主体的に美術に関する専門的な学習に取り組み，感性を磨き，美術文化の継承，発展，創造に寄与する態度を養う。

科目　素描 （映像）　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識：画材の使用方法や技法を理解している。 技能：対象を捉える力や、制作意図を効果的に表現する力を身に付ける。	発想や構想：画材の特性をいかして課題の意図や構想を考え、表現の構想を練ることができる。鑑賞：作者の意図や創造的な表現の工夫などについて考えることができる。	表現の及び鑑賞に主体的に取り組むことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
前期	単元　遠近法「学内の風景デッサン」 【知識・技能】 鉛筆の特性について理解を深め、的確に描写できる。遠近法について理解を深める。 【思考・判断・表現】 対象のイメージや空間を把握するための基礎的な思考力・判断力・表現力を育成する。 【主体的に学習に取り組む態度】 参考作品や指導を作品に取り入れ工夫できた。	・指導項目 画用紙と鉛筆の特性。遠近法の理解、視点と空間の把握、光と陰影の表現。 ・教材 画用紙、デッサン用具一式。遠近法に関する資料。 ・タブレット端末の活用。作品を記録し、振り返りにいかす。	【知識・技能】 鉛筆の特性、遠近法を理解し的確に描写できたか。 【思考・判断・表現】 対象のイメージや空間を理解し工夫を凝らし意図した表現ができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 参考作品や指導を作品に取り入れ工夫できたか。	○	○	○	20
	単元　静物「石膏を含んだ組モチーフ」 【知識・技能】 鉛筆の特性やモチーフの形や質感、空間の捉え方について理解を深め、的確に描写できる。 【思考・判断・表現】 対象のイメージや空間を把握するための基礎的な思考力・判断力・表現力を育成する。 【主体的に学習に取り組む態度】 参考作品や指導を作品に取り入れ工夫できた。	・指導項目 画用紙と鉛筆の特性。形、質感、空間の把握。光と陰影の表現。 ・教材 画用紙、デッサン用具一式。 ・タブレット端末の活用 作品を記録し、振り返りにいかす。	【知識・技能】 鉛筆の特性やモチーフの形や質感の捉え方について理解を深め、的確に描写することができたか。 【思考・判断・表現】 対象のイメージや空間を理解し工夫を凝らし意図した表現ができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 参考作品や指導を作品に取り入れ工夫できた。	○	○	○	20
後期	単元　人物「ヌードクロッキー」 【知識・技能】 対象を深く観察し、形の捉え方について理解を深めることができる。 【思考・判断・表現】 対象のイメージや空間を把握するための基礎的な思考力・判断力・表現力を育成する。 【主体的に学習に取り組む態度】 参考作品や指導を作品に取り入れ工夫できた。	・指導項目 クロッキー帳とクロッキー用具の特性。形、比率、画面内バランスの把握。 ・教材 画用紙、デッサン用具一式。 ・タブレット端末の活用 作品を記録し、振り返りにいかす。	【知識・技能】 画材の特性や形の捉え方について理解を深め、対象を深く観察し表現を工夫し描写できたか。 【思考・判断・表現】 対象のイメージ・質感や空間を理解し、表現方法を工夫し対象を表現できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 参考作品や指導を作品に取り入れ工夫できたか。	○	○	○	10
	単元　人物「ヌードデッサン」 【知識・技能】 対象を深く観察し、形の捉え方について理解を深めることができる。 【思考・判断・表現】 対象のイメージや空間を把握するための基礎的な思考力・判断力・表現力を育成する。 【主体的に学習に取り組む態度】 参考作品や指導を作品に取り入れ工夫できた。	・指導項目 画用紙と鉛筆の特性。形、比率、画面内バランス、質感、空間の把握。光と陰影の表現。 ・教材 画用紙、デッサン用具一式。 ・タブレット端末の活用 作品を記録し、振り返りにいかす。	【知識・技能】 鉛筆の特性やモチーフの形や質感の捉え方について理解を深め、的確に描写することができたか。 【思考・判断・表現】 対象のイメージや空間を理解し工夫を凝らし意図した表現ができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 参考作品や指導を作品に取り入れ工夫できた。	○	○	○	20
							合計
							70